

---

# これが彼らのクール・ビズ

星衣礼

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

これが彼らのクール・ビズ

### 【Zコード】

Z0666F

### 【作者名】

星衣礼

### 【あらすじ】

今年の春に始まった原油高騰は組織の彼らにまで災いをもたらしていた。いつも仲良し2人組みと頭脳明晰科学者でお送りするギヤグです 組織ネタ第1弾！…どうぞお楽しみ下さい

今年の春から始まつたガソリン代の上昇は今だ天井が見えない。燃費の悪い車にとつては致命傷である。

「つたく、こんなに暑いと仕事に嫌気が差しますよね、兄貴？」  
「フン、なら上着を脱いだらどうだ？」

ジンの愛車ポルシェ356Aは年代物のクラシックカーで、そのガソリン代はバカにならない。仕事で車を使わるのは彼のプライドが許さないらしく、かつかつの生活費を削つて愛車に愛を注いでいた。しかし、車内に冷房が効いている気配はない。しかも、こんな真夏日でも彼らは組織のカラーであるブラックを律儀にも全身に纏い、おまけに帽子まで深々と被つている。

「脱ぐ前に、その贅肉をどうにかしてちょうどだい。目が潰れるわ。」

後部座席に座る女性がはさらりと言つた。真夏の灼熱の太陽が照りつける日でさえも凍りつかせるような血も涙も無い言葉に、ウオツカが血を流して倒れたのは言つまでもない。

「それもこれもガソリンが値上がりするからだ。1リットル196円だと？」

ふざけるな、とジンは舌打ちをして悪態づく。

「貴方の大好きなタバコも吸えないものね？」

そう、この生活苦の為、彼はタバコ一本も吸えない日がここ何日

も続いていた。彼のイライラの原因は口課とも言える行事を取り上げられたことにある。

「クス、イライラはお肌に悪いのよ？」

「どうにかならないんですかね？せめてクーラーをつけてもらえるくらいの値段にしてほしいですぜ。」

ウォッカが死の淵から蘇つて来て言う。

「…シェリーは暑くないんですか？」

「私？全然暑くないわよ。まあ、ここは少し暑いけど、職場は常に25℃の快適な空間ですもの。」

そして、妖艶な笑みをその可愛らしさに口元に浮かべウォッカの耳元で囁く。

「それとも何、私に脱いでほしいの？ウォッカ。」

シェリーの誘惑にウォッカは顔を紅潮させた。

「なんなら裸の上に白衣を着てあげましょうか？もちろん晒していくけどね。」

天使のような外見を持ち、魔女のように艶かしく悪魔のような彼女の誘惑に負けじと頑張るが、所詮無駄な悪あがきだった。つい頭の中で妄想してしまつ。

そのとき、ウォッカのこめかみに何かひやりとしたものが当たつた。

「ウォッカ、テメー、わかつてんだろうな？」

「あ、兄貴！？」

ジンはその射抜くような鋭い眼光でウォツカを睨みつけ、セーフティを外した。彼は本気だ。

「人の女に手を出して生きていられると思うなよ？」

「あ、兄貴っ！…そんな、手なんてつ…！」

「あら、いつ私が貴方のものになつたのかしら…？」

ウォツカが冷や汗をだらだらと流し、ぶるぶると震えていく後ろでシェリーはポツリと吐いた。

「ほら、兄貴！…シェリーもああ言つてやんすぜ？自分の女だなんて兄貴の勘違つ…！」

そのとき、銃を乱射する音がポルシェの中から外に響き渡った。ギヤーといつウォツカの哀れな叫びと共に。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0666f/>

---

これが彼らのクール・ビズ

2011年6月16日09時05分発行